授業科目　コーチング論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	スポ
下山　好充、山崎　史恵	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		○	○	

【概要・一般目標：GIO】

スポーツ・トレーニングにおけるコーチの役割を理解し、自己のコーチング資質向上の基礎を形成する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．スポーツ指導者の役割について理解する。
2．スポーツ指導に必要な態度、知識、スキルを向上させていく方法を知る。
3．選手やチームの成員と適切な人間関係を築くための態度、知識およびスキルを学ぶ。
4．選手とチームを目標や問題解決に導くためのコーチング行動について理解する。
5．選手の個性や心身の発育発達段階に応じた目標設定および指導法について考える。
6．指導計画をたてる際の原理原則を学ぶ。
7．スポーツ指導における安全管理について学ぶ。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	スポーツ指導者とは（スポーツ指導者の必要性、スポーツ医科学に関する知識の必要性）	1,2	山崎
2	指導者の心構え・視点（医科学スタッフとの連携）	2	〃
3	指導者の心構え・視点（指導者として必要なコミュニケーションスキル）	2	〃
4	競技者育成プログラムの理念（一貫指導システム、指導者の役割、ネットワーク）	1,5	〃
5	プレーヤーと指導者の望ましい関係（１）	3,4	〃
6	プレーヤーと指導者の望ましい関係（２）	3,4	〃
7	ミーティングの方法	3,4	〃　レポート
8	競技者育成プログラムの理念に基づく展開（１）	5	下山
9	指導計画のたて方（集団の指導計画）	5	〃
10	指導計画のたて方（個人の指導計画）	6	〃
11	指導計画のたて方（期別計画）	6	〃
12	スポーツ活動と安全管理（個人的要因、環境的要因、競技特性）	6	〃
13	国内外におけるコーチングの実際	7	〃
14	コーチングの今後の展望	7	〃　レポート
15	まとめ		下山、山崎

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	公認スポーツ指導者養成テキスト　共通科目 I, II, III		日本体育協会	2005
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

出席状況、授業態度、レポート、期末試験

【履修上の留意点】